

# 選手注意事項

- 1 競技方法は、男女別の学校対抗とし、各種目の得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。同点の場合は優勝種目数によって順位を決め、なおそれによって順位が決しない場合は第2位数による。以下これに準ずる。
- 2 競技は2016年日本陸上競技連盟規則に準じて実施する。
- 3 招集について
  - (1) 第1次招集は、招集所で○印を付ける。リレー競技はオーダー用紙提出をもってチェックする。
  - (2) 競技者は、出場種目の招集時刻には招集所にて待機していること。
  - (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目は棄権とする。
  - (4) 腰ナンバーカードは、競技者係で受取りパンツ右側後方に付け、終了後必ず返却する。
- 4 集合所から試技場に行くときは係員の誘導に従い規律ある行動をすること。
- 5 他の種目と兼ねて出場するもので、同時に2種目行われるものは、代人をもってその旨競技者係及び当該審判員に申し出て、競技の進行に支障のないようにすること。
- 6 競技者の服装は学校対抗の選手として、所属校の定めたユニフォームを着用し清潔をむねとし不体裁にならないこと。
- 7 ナンバーカードは胸、背両部に確実につけること。ただし、跳躍種目は胸部1枚でよい。  
(特に、リレーに出場する選手は上下統一したユニフォームを着用すること)
- 8 トラック、フィールドにおける予選の走路順及び試技順はプログラム記載の左の行より上から下へ順次下段に移る。準決勝・決勝は番組編成員で公正に決定する。
- 9 選手の変更は認めない。
- 10 競技用具は競技場備え付けの物を使用する。但し棒高跳用ポールとヤリは検定を受け使用すること。
- 11 リレーのオーダー提出は召集完了1時間前提出のこと。(用紙は競技者係に用意してある。)
- 12 競技場内は、当該選手・役員以外の入場は認めない。
- 13 スパイクピンの長さは、トラック種目は9mm以下、フィールド種目は12mm以下とする。
- 14 表彰について、各種目全道大会出場権を獲得したものに賞状を授与する。通告後ただちに本部席前に集合すること。本人が出席できない場合は、代理人が表彰を受けること。
- 15 トラック・跳躍については本競技場のバックストレッチでウォーミングアップを行い、投てき種目については下記の時間帯で練習するものとする。

砲丸投げ(1日目)	7:30 ~ 8:30	本競技場のフィールド
	7:30 ~ 13:00	サブグラウンド投てき場
円盤投げ(2日目)	7:30 ~ 8:30	本競技場のフィールド
	9:00 ~ 10:00	サブグラウンド投てき場
ハンマー投げ(2日目)	12:00 ~ 13:00	サブグラウンド投てき場
ヤリ投げ(3日目)	7:30 ~ 8:30	本競技場のフィールド
- 16 走高跳、リレー競技のマーキングは競技者係で受け取り、終了後各自・各チームで後始末を行う。
- 17 競技終了後、全道大会出場権を得た競技者の監督は、全道大会申し込みを完了すること。
- 18 ゴミは各校で持ち帰ること。
- 19 携帯電話・ミュージックプレーヤーの使用マナーについては重々注意すること。
- 20 平成28年度北海道高等学校体育連盟主催大会参加者災害補償制度に加入していること。